

滋　　リ　　ハ　　第　　3　1　　号
令和 7 年（2025 年）4 月 16 日

各関係機関、団体の代表者　様

滋賀県立リハビリテーションセンター所長
（　　　公　　　印　　　省　　　略　　　）

令和 7 年度地域リハビリテーション人材育成研修会参加者の公募について（ご案内）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、一昨年度に引き続き別添実施要領のとおり、地域リハビリテーションの推進に寄与することのできる理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を育成する標記研修会を実施します。

つきましては、事業についてご周知いただくとともに、研修のご応募についてご配慮を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

滋賀県立リハビリテーションセンター
事業推進係　山原・梅居・奥村
〒524-8524
滋賀県守山市守山五丁目 4-30
TEL : 077-582-8157　／　FAX : 077-582-5726
E-Mail : eg3001@pref.shiga.lg.jp

令和7年度 地域リハビリテーション人材育成研修 実施要領

1. 趣旨（目的）

近年、高齢者、障害者、児童等への総合的な支援体制の構築や地域包括ケアシステムの構築に向けてリハビリテーション専門職（以下、リハ専門職）の専門性が強く求められている。一方、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などのリハ専門職は教育課程において、「障害や疾病」に関する専門性を持っているが、地域包括ケアシステムなどの地域リハビリテーション（以下、地域リハ）の推進に必要な「地域資源などの地域現状の理解」や「地域とのネットワーク構築」、そして地域でその専門性を活かす「コーディネート」に関する教育を受けているとはいえない。

そこで、地域リハを推進するために、リハ専門職が自らの“地域”を理解し、業務を行う上で必要となる基礎的な知識や技術を習得することにより、地域住民がどのライフステージにおいても住みなれた場所で暮らし続けることができる地域づくりに寄与できるリハ専門職の人材育成を目的に事業を実施する。

2. 実施主体

滋賀県立リハビリテーションセンター

3. 共催

滋賀県理学療法士会、滋賀県作業療法士会、滋賀県言語聴覚士会

4. 対象者

下記(1)～(3)のすべてを満たすもの

- (1) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士として3年以上の経験を有し、県内で勤務している者
- (2) 地域リハビリテーションの推進に寄与する意欲がある者
- (3) 所属機関から推薦および承諾を受けた者

(* (1)～(3)を満たさないもので受講を希望される場合は要相談。)

5. 研修期間

令和7年6月～令和8年3月

6. 内容

別添シラバス参照

*オンライン形式と集合形式にて実施します。

7. 方法

参集型とオンライン（Zoom）にて研修を実施します。見学実習は協力施設と調整の上、実地で実施する予定ですが、変更する可能性があります。

8. 受講定員

15名程度

*一部オンライン形式で演習等の実施を予定しているため、受講希望者多数の場合は受講をお断りする場合があります。

9. 受講の申し込みと受講者の決定

(1)申し込み

- 1) 様式1については原則下記アドレスまたは二次元コードのしがネット受付サービスにより申込しがネット受付サービスが利用できない場合は、所定様式1をご利用ください。

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/jinnzai-r7>

- 2) 推薦書(様式2)を郵送または写真データにてしがネット受付サービスにより提出

*現在所属・勤務先がない方については推薦書(様式2)の提出は不要です。



(2)申し込み期間

令和7年4月21日(月)～令和7年5月23日(金) 17:00 必着(締め切り厳守)

(3)申し込み先

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4-30

滋賀県立リハビリテーションセンター事業推進係 宛

(4)受講者の決定

受講者の決定は、滋賀県立リハビリテーションセンター所長が行い、すべての申込者に対し、文書で受講の可否について通知を行います。

10. 受講料

研修費および教材費は無料

*研修開催地までの交通費は自己負担です。

*万が一、研修中に盗難およびその他物的事故等が発生いたしましても、当センターは責任を負いかねますのでご了承をお願い致します。

11. 修了について

(1)修了要件

原則、講義・演習を含む全てのカリキュラムに出席することとしています。

*ただし、オンラインの出席ができず、後日、配信等で補講が実施可能なカリキュラムについては、補講およびレポート提出にて出席とみなします。

*受講者が欠席等で年度内に全てのカリキュラムを修了することができなかった場合は、欠席した講座内容に対応する次回開催年度の講座を受講することで、修了に必要な要件を満たすことができます。(この場合修了証書の授与は、要件を満たした年度末とします。)

注：予算状況次第で、次年度以降同様の研修が開催されない場合があります。

(2)修了した者には、修了証書を授与します。

(3)修了者のうち同意の得られた者については、研修修了者として名簿を作成し、広く公開します。

【お問い合わせ先】

滋賀県立リハビリテーションセンター事業推進係

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4-30

Tel:077-582-8157 FAX:077-582-5726 E-mail:eg3001@pref.shiga.lg.jp

(様式 1 : 令和 7 年度地域リハビリテーション人材育成研修 申込書)

受講申込については、しがネット受付サービスにより下記アドレスまたは二次元コードからお申し込みください。

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure-alias/jinnzai-r7>

研修中はしがネット受付サービスを利用しレポートなど提出していただきますので、利用者登録をしていただきますと今後のレポート提出等の申請がスムーズに行えます。

しがネット受付サービスが利用できない場合は下記様式をお使いください。



令和 7 年度 地域リハビリテーション人材育成研修 申込書

ふりがな 氏名			自宅 現住所	〒 -
生年月日	昭和・平成 年 月 日 (歳)		連絡先	携帯電話番号 - -
職種	PT ・ OT ・ ST			E-mail (PC) *申込時に空メールを事務局へ送信願います。
免許取得 年月日	昭和・平成・令和 年 月 日 (年 目)			@
職能団体 への所属	☐ 所属している ☐ 所属していない 団体名 () 会員番号 ()			
職歴 *経験年数がわかるように記載	昭和・平成・令和 年 月～ (現職) 昭和・平成・令和 年 月～昭和・平成・令和 年 月 昭和・平成・令和 年 月～昭和・平成・令和 年 月			
勤務先	有 ・ 無	名称 担当部署 所在地 連絡先 (TEL) - -		
その他 保持資格				
社会活動 など				
受講動機 理由	*何を学び、今後どのように活かしていきたいと考えているかを具体的に記載ください。			
その他	*受講申し込み時点ですでに出席が困難な日がある場合、その日および理由も記載ください。			

*お申し込みによって得た個人情報は、当研修会の申し込み手続きおよび運営（参加者把握等）のためにのみ利用し、法令等に基づく場合を除き、あらかじめご本人の同意をいただくことなく、外部に提供することはありません。 提出先 : 滋賀県守山市守山 5 丁目 4-30 滋賀県立リハビリテーションセンター 事業推進係
提出期限 : 令和 7 年 5 月 23 日 (金) 17:00 (必着)

受講推薦書

受講申込者 氏名 : _____ 印

所属機関名 : _____

上記の者を、貴研修会の受講者として推薦いたします。

令和 年 月 日

所属機関名 : _____

所属機関所在地 : _____

代表者氏名 : _____ 印

提出先 : 滋賀県守山市守山 5 丁目 4-30 滋賀県立リハビリテーションセンター 事業推進係

提出期限 : 令和 7 年 5 月 23 日 (金) 17:00 (必着)

令和7年度 地域リハビリテーション人材育成研修会 シラバス

◎カリキュラム総時間 2480 分

I. 地域共生社会に求められるリハビリテーション職種（765 分） 6 月中旬～9 月

◎受講生の到達目標

- ・地域 / 地域共生社会とは何か考えを述べることができる。
- ・様々なライフサイクルの中で自助・互助・共助・公助が絡み合うことの大切さを説明することができる。
- ・地域共生社会の実現に求められているリハ職像を述べることができる。
- ・様々な制度や社会情勢の中で、リハ専門職が活躍していることを知っている。

■内容および講師

タイトル	時間	講師候補（所属・氏名）
①滋賀県立リハビリテーションセンターのこれまでの動きと研修の狙い	45 分	滋賀県立リハビリテーションセンター 梅居 奈央
②地域共生社会の実現に向けた動きと方向性	90 分	政策研究大学院大学 小野 太一 氏
③地域リハビリテーションの基本理念と地域共生社会に向けて地域で求められるリハ職	90 分	滋賀県立リハビリテーションセンター 梅居 奈央
④地域共生社会の実現に向けて先進的な取り組みを行うリハ職の実践 -リハ職の視点を地域社会に活かす-	各 90 分 6 コマ	
（子ども分野）		NPO 法人はびりす 鹿野 昭幸 氏
（就労分野）		就労支援事業所 ハートスイッチ 千葉 由香里 氏
（福祉分野）		津山市役所 安本 勝博 氏
（デジタル分野）		株式会社アシテック・オコ 小林 大作 氏
（スポーツ分野）		びわこリハビリテーション専門職大学 木岡 和実 氏
（産業保健分野）		株式会社地域リハデザイン研究所 岩倉 浩司 氏

Ⅱ．地域リハビリテーションを推進する地域資源とその現状（680 分） 7 月～9 月

◎受講生の到達目標

- ・滋賀県の医療福祉、障害福祉の仕組み（理念・法律・サービス・地域での動き）について概要を知っている
- ・地域共生社会の実現に向けた取り組みについて知っている

■内容および講師

タイトル	時間	講師候補（所属・氏名）
①障害福祉を取り巻く法制度の概要基礎—共生社会に向けて—	90 分	滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長 大平 眞太郎 氏
②地域共生社会に向けた県内のリハ職の実践事例	90 分	地域リハ人材育成研修会修了生
④滋賀県の医療福祉における政策とリハビリテーション専門職への期待	各 40 分 2 コマ	・滋賀県健康しが推進課長 ・滋賀県医療福祉推進課長
⑤見学実習	210 分 2 コマ	滋賀県内各施設 * 医療福祉、障害福祉に係る事業所等

Ⅲ．地域リハビリテーションの推進に求められる能力（360 分） 11 月～12 月

◎受講生の到達目標

- ・地域リハビリテーションを支える支援者の専門性や価値観を説明できる
- ・リハ専門職の専門性を他の支援者に理解できるように説明することができる
- ・自らが勤める地域にどのような地域資源があるか調べ、述べることができる
- ・地域診断に必要な能力を述べることができる

■内容および講師

タイトル	時間	講師候補（所属・氏名）
①リハ専門職に求められる多職種連携に必要な能力	180 分	吉備国際大学保健医療福祉学部 京極 真 氏
②リハ専門職に求められる地域評価・診断の基礎	180 分	東京科学大学大学院保健衛生学研究科 上地 賢 氏

IV. 地域リハビリテーションの推進に向けた実践（675 分） 12 月～2 月

◎受講生の到達目標

- ・包括的に“人”や“地域”を見る視点を再確認することができる
- ・リハ職が自らの視点を他職種に理解してもらえるような説明が行える
- ・地域での課題を解決するための方策を立案できる
- ・これから地域でリハ専門職に求められる能力を述べ、自らのこれからの行動立案が行える

■内容および講師

タイトル	時間	講師候補（所属・氏名）
①地域リハビリテーションマネジメント基礎演習 地域課題を見出し、実現可能な個人施策の骨子を立案	315 分	東京科学大学大学院保健衛生学研究科 上地 賢 氏 （研修補助 リハビリテーションセンター職員）
②地域リハビリテーションマネジメント応用演習	360 分	東京科学大学大学院保健衛生学研究科 上地 賢 氏 ・コメンテーター 滋賀県健康医療福祉部健康しが推進課職員 人材育成活用推進検討会議委員など

令和 7 年度 地域リハビリテーション人材育成研修会 日程表

回・開催形態	日時	カリキュラム名・講師
第 1 回 WEB	6 月 27 日 (金) 18 : 30～20 : 00	<u>(オリエンテーション)</u> <u>滋賀県立リハビリテーションセンターのこれまでの動きと研修の狙い(45 分)</u> 滋賀県立リハビリテーションセンター 梅居 奈央 (理学療法士) <u>参加者自己紹介</u>
第 2 回 集合研修	6 月 28 日 (土) 12 : 00～13 : 30	<u>(講義) 地域共生社会の実現に向けた動きと方向性(90 分)</u> 政策研究大学院大学 小野 太一 氏
	13 : 45～15 : 15	<u>(講義) 地域リハビリテーションの基本理念と地域共生社会に向けて地域で求められるリハ職(90 分)</u> 滋賀県立リハビリテーションセンター 梅居 奈央 (理学療法士)
第 3 回 集合研修	7 月 19 日 (土) 10 : 00～11 : 30	<u>(講義) 地域共生社会の実現に向けて、先進的な取組を行うリハ職の実践～デジタル分野～(90 分)</u> 株式会社アシテック・オコ 小林 大作 氏 (作業療法士)
	12 : 30～14 : 00	<u>(講義) 地域共生社会の実現に向けて、先進的な取組を行うリハ職の実践～スポーツ分野～(90 分)</u> びわこリハビリテーション専門職大学 木岡 和実 氏 (作業療法士)
第 4 回 集合研修	8 月 2 日 (土) 13 : 00～14 : 30	<u>(講義) 地域共生社会の実現に向けて、先進的な取組を行うリハ職の実践～福祉分野～(90 分)</u> 津山市役所 安本 勝博 氏 (作業療法士)
	14 : 45～16 : 15	<u>(講義) 障害福祉分野等における県内のリハ職の実践事例(90 分)</u> 地域リハ実践 地域リハビリテーション人材育成修了生より
第 5 回 WEB	8 月 23 日 (土) 10 : 00～11 : 30	<u>(講義) 滋賀県の医療福祉における政策とリハビリテーション専門職への期待(各 40 分)</u> 滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課 課長 石田 直人 滋賀県健康医療福祉部健康しが推進課 課長 野原 成彦
第 6 回 WEB	9 月 7 日 (日) 9 : 00～10 : 30	<u>(講義) 地域共生社会の実現に向けて、先進的な取組を行うリハ職の実践～子ども分野～(90 分)</u> NPO 法人はびりす 鹿野 昭幸 氏 (理学療法士)
	10 : 45～12 : 15	<u>(講義) 地域共生社会の実現に向けて、先進的な取組を行うリハ職の実践～就労分野～(90 分)</u> 就労支援事業所 ハートスイッチ 千葉 由香里 氏 (作業療法士)
第 7 回 集合研修	9 月 23 日 (火・祝) 13 : 00～14 : 30	<u>(講義) 地域共生社会の実現に向けて、先進的な取組を行うリハ職の実践～産業衛生分野～(90 分)</u> 株式会社リハデザイン研究所 岩倉 浩司 氏 (理学療法士)
	14 : 45～16 : 15	<u>(講義) 障害福祉を取り巻く法制度の概要の基礎～共生社会に向けて～(90 分)</u> 滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長 大平 眞太郎 氏
第 8 回 第 9 回	9 月～12 月 ※平日で調整予定	<u>(見学実習)</u> 滋賀県内の地域共生社会の実現に向けた先進的な取り組み(210 分 各 2 回)
第 10 回 WEB	11 月 8 日 (土) 13 : 00～16 : 00	<u>(講義・演習) リハ専門職に求められる多職種連携に必要な能力(180 分)</u> 吉備国際大学 人間科学部 人間科学科 京極 真 氏 (作業療法士)
第 11 回 集合研修	12 月 14 日 (日) 10 : 00～16 : 15	<u>(講義・演習) リハ専門職に求められる地域評価・診断の基礎</u> <u>(講義・演習) 地域リハビリテーションマネジメント基礎演習</u>
		東京科学大学 大学院保健衛生学研究科 上地 賢 氏 (保健師) (315 分)
第 12 回 集合研修	1 月 25 日 (日) 13 : 00～16 : 00	<u>(講義・演習) 地域リハビリテーションマネジメント基礎演習(180 分)</u> 東京科学大学 大学院保健衛生学研究科 上地 賢 氏 (保健師)
第 13 回 集合研修	3 月 1 日 (日) 10 : 00～17 : 00	<u>(講義・演習) 地域リハビリテーションマネジメント実践演習(360 分)</u> 東京科学大学 大学院保健衛生学研究科 上地 賢 氏 (保健師)

*講師の都合や感染症拡大の状況等により、日程やカリキュラム、研修手法の変更または研修中止になることがあります。

*オンライン (Zoom) での研修の際は、開始前に事務連絡を行いますので、開始時間の 5 分前にはログインしてください。

受講生

令和 7 年度地域リハビリテーション人材育成研修会

大募集

地域リハビリテーションのこと本気で学んでみませんか？

応募資格

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士（詳細は実施要領参照）

内容

地域リハビリテーションに関する講義・演習・見学実習 など

場所

現地開催またはオンライン（Zoom）にて実施（※見学実習は現地開催を予定）

期間

令和 7 年 6 月～令和 8 年 3 月

費用

無料（ただし、交通費等は自己負担）

定員

15 名程度

申込方法

別添（様式 1）オンライン申請（様式 2）オンラインまたは郵送にて提出

申込締切

令和 7 年 5 月 23 日（金）17：00 必着

その他

詳細は実施要領をご参照ください。

（滋賀県立リハビリテーションセンターホームページに掲載しております。）

共催

公益社団法人滋賀県理学療法士会

一般社団法人滋賀県作業療法士会

滋賀県言語聴覚士会



応募・問い合わせ先

〒524-8524 滋賀県守山市守山 5 丁目 4-30

滋賀県立リハビリテーションセンター 事業推進係

TEL 077-582-8157 FAX 077-582-5726

E-mail eg3001@pref.shiga.lg.jp